

## アメリカの歴史的寒波による物流への影響

各種報道の通り、アメリカ中西部から北東部の広い範囲を襲った猛烈な寒波により、24の州で緊急事態宣言が出されています。航空便の欠航、東部主要港のコンテナターミナル閉鎖など物流にも大きな影響が出ています。本号では、物流を中心に現在までの状況をお伝えします。

### 1. 寒波による物流への影響

#### 【航空輸送】

- 1月24日から26日までの間に約2万1千便の航空便が欠航しました。現在も多くの空港で除氷作業が行われており、主要空港で遅延が続いています。
- JFK(ジョン・F・ケネディ)、EWR(ニューアーク・リバティ)、LGA(ラガーディア)、テキサス州のDFW(ダラス・フォートワース)、ノースカロライナ州のCLT(シャーロット・ダグラス)、ワシントンD.C.のDCA(ロナルド・レーガン・ワシントン・ナショナル)等:いずれの空港も稼働は継続しているものの寒波による大量欠航・遅延が発生しました。



テキサス州の有料道路での除雪作業の様子 写真 AP/アフロ

#### 【海上輸送】

- ニューヨーク・ニュージャージー港:主要ターミナルは1月26日は終日閉鎖。1月27日から一部ターミナルで再開予定です。
- ヒューストン港:コンテナターミナルは1月27日から再開予定です。

#### 【陸上輸送】

- 道路:南東・中部・北東部にかけて、路面の凍結・通行規制・多重事故が発生しました。現在も一部地域では大雪・着氷に伴う交通規制が発生しています。

### 2. 被害状況と今後の見通しについて

今回の寒波により、テネシー、ミズーリ、ルイジアナ州を中心に16万戸以上が停電しました。アメリカ国立気象局によると、上空の気圧配置により中部以東の広い範囲で厳しい寒さは続く見込みで、現在も米国南部の広い範囲からオハイオ川流域にかけて中部アパラチア一帯でExtreme Cold Warning(極端低温警報)が発令されています。今後も引き続き警戒が必要です。

※上記情報につきましては、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。



【出典】ニューヨーク・ニュージャージー港湾公社:<https://www.panynj.gov/>

アメリカ国立気象局:<https://www.weather.gov>

アメリカ連邦航空局:<https://nasstatus.faa.gov/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を払っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリンピックス バックナンバー